

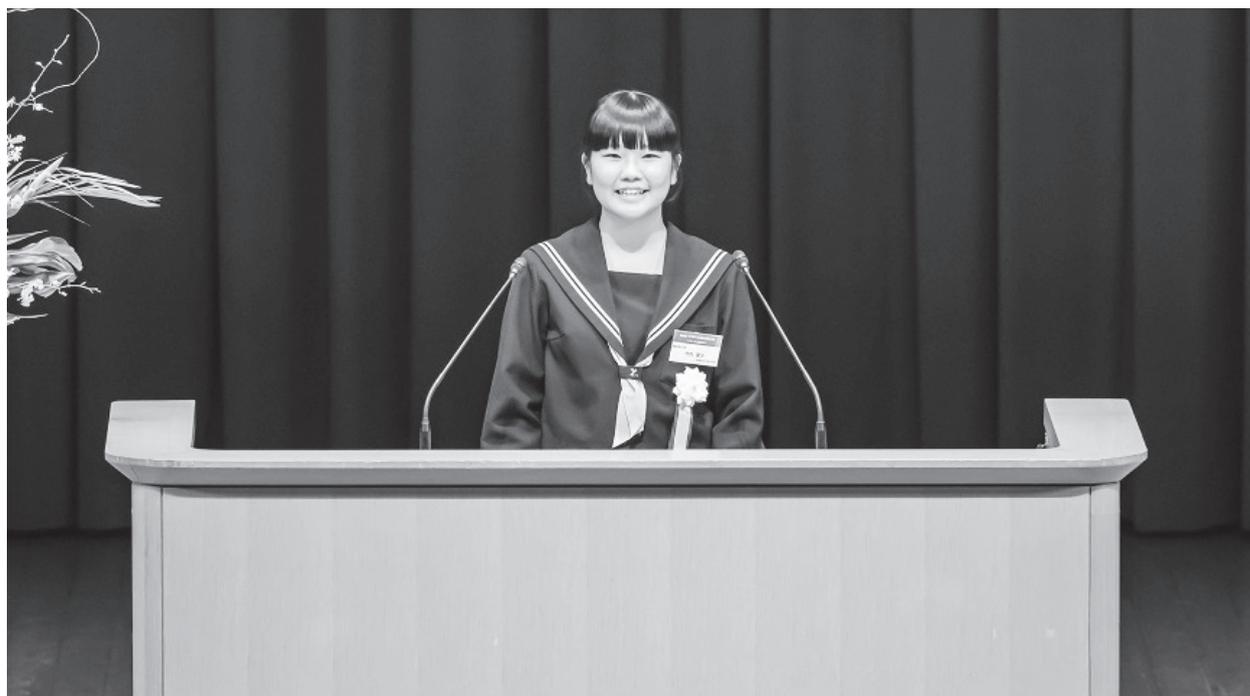
愛知県青少年育成県民会議だより

Next Generation

次代

第157号 2024.3

第45回少年の主張全国大会において 「国立青少年教育振興機構理事長賞」を受賞！



<全国大会での発表の様子>

令和5年度少年の主張愛知県大会で最優秀賞を受賞した竹内愛子さん(常滑市立常滑中学校3年)が、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)で開催された全国大会で、「国立青少年教育振興機構理事長賞」を受賞しました。(詳細は8ページ)

CONTENTS

表紙写真／第45回少年の主張全国大会において「国立青少年教育振興機構理事長賞」を受賞！	1
「第62回青少年によい本をすすめる県民運動」の実施	2
「子ども・若者育成支援県民運動」の実施／「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(冬期)」の実施	3
令和5年度「家庭の日」県民運動啓発ポスター入賞者の紹介	4～5
愛知県表彰の受賞／こども大綱について	6
「子ども・若者未来会議」を開催しました	7
第45回少年の主張全国大会で愛知県代表の竹内愛子さんが「国立青少年教育振興機構理事長賞」を受賞しました／「子ども・若者支援ネットワーク形成促進事業」について	8

お知らせ

愛知県青少年育成県民会議総会

日 時 2024年6月6日(木)
午後1時30分から

場 所 愛知県自治センター 12階
会議室E

愛知県青少年育成推進
キャラクター「ゆうりい」



「第62回青少年によい本をすすめる県民運動」を実施しました ～育てよう 豊かな心 読書から～

県と県民会議では、毎年10月を「青少年によい本をすすめる県民運動」強調月間と定め、「育てよう 豊かな心 読書から」をスローガンに、家庭・学校・地域社会での積極的な運動の展開を図り、関係機関・団体の協力を得て、はがきによる読書感想文・感想画の募集等を実施しています。

2023年度も、県図書館1階に推薦図書の展示コーナーを設けて、この運動を支援していただきました。

なお、読書感想文の応募結果については、全体の応募数は2022年度を下回りましたが、多くの学校が授業時間の確保に努めながら、熱心に取り組んでくださいました。

また、応募いただいた学校等には、愛知県書店商業組合様の協賛により、図書や図書カードを寄贈しておりますが、全校での取組が特に顕著であった小学校・幼稚園・こども園には、直接訪問して図書を寄贈しました。

- ◆応募総数 10,946点
- ◆応募内容 学校・園単位応募 10,853点(61校・園)
個人応募 93点
- ◆寄贈数 図書約1,450冊、図書カード107枚
- ◆訪問校 にじいろこどもえん(名古屋市)
一宮市立大和東小学校
津島市立高台寺小学校
木田幼稚園(あま市)
豊川市立八南小学校
田原市立中山小学校



〈愛知県図書館の展示コーナー〉



〈訪問先の学校・園にて〉

「子ども・若者育成支援県民運動」を実施しました

全ての子ども・若者は、健やかに成長し、明るい未来を切り拓いていく、かけがえのない存在です。

一方、ひきこもり、不登校、少年非行、児童虐待、SNSの普及に伴う犯罪被害など、子ども・若者をめぐる課題は、依然として山積しています。このような課題の解決には、子どもや若者を孤立させず、関係者一人一人が関心を持ち、地域全体で支えていくことが重要です。

県民会議では、11月の「秋のこどもまんなか月間」における「子ども・若者育成支援県民運動」として、期間中に関係機関、団体において、子ども・若者育成支援のための諸事業、諸活動が集中的に実施されるよう各種活動への積極的な参加を促し、県民運動の一層の充実と定着を図りました。

【主な取組】

- 各種広報・Web ページ等による広報の実施
- 市町村青少年健全育成大会の開催
- 少年センター補導員による巡回補導活動の実施
- 児童虐待対策セミナー、ひきこもり家族教室、研修会の実施
- 県の「育19 キャンペーン」における大曽根駅周辺での街頭啓発

「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(冬期)」を実施しました ～非行の芽 はやめにつもう みな我が子～

県民会議では、夏期(7、8月)に続き、青少年が有害環境に接する機会が増える冬休み期間(12月20日から1月10日まで)に、インターネット利用に係る犯罪被害等の防止を重点とした「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(冬期)」を実施しました。

運動期間中は、自治体、関係団体等が相互に協力しながら県民総ぐるみでの青少年の非行・被害防止に向けた各種取組が行われました。

【運動の重点項目】

- ◎最重点項目
インターネット利用におけるこどもの犯罪被害等の防止
- 重点項目
 - ・有害環境への適切な対応
 - ・薬物乱用対策の推進
 - ・不良行為・初発型非行(犯罪)等の防止
 - ・再非行(犯罪)の防止
 - ・重大ないじめ・暴力行為等の問題行為等への対応

【主な取組】

- 自画撮り被害防止アプリ「コドマモ」の利用等について啓発活動

◆主な機能

- ・わいせつな自撮り
ブロック
- ・アンインストール
防止 など



「コドマモ」web ページ

令和5年度「家庭の日」県民運動啓発ポスター入賞者を紹介します

「家庭の日」県民運動の一環として実施した啓発ポスター募集に県内の小・中・高校生等から10,139点の応募があり、以下のとおり上位入賞者が決まりました。このうち、「児童の部 特選」の作品を「家庭の日」啓発ポスターに採用するとともに、特選・入選の作品を啓発リーフレットに掲載し、県内の教育機関等で掲示・配布するなど、優秀な作品を2月の「家庭の日」県民運動強調月間の啓発活動に活用しました。

児童(小学生)の部

特選



4年 岡崎市立六名小学校
橋本 総一郎さん

入選



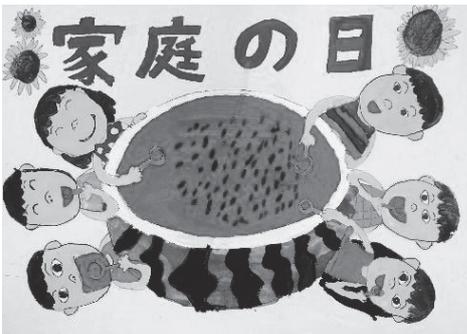
1年 西尾市立東幡豆小学校
福田 妃七星さん

入選



2年 豊橋市立二川小学校
宮内 王知さん

入選



3年 名古屋市立楠西小学校
鈴木 陽翔さん

入選



6年 武豊町立緑丘小学校
戸田 彩水さん

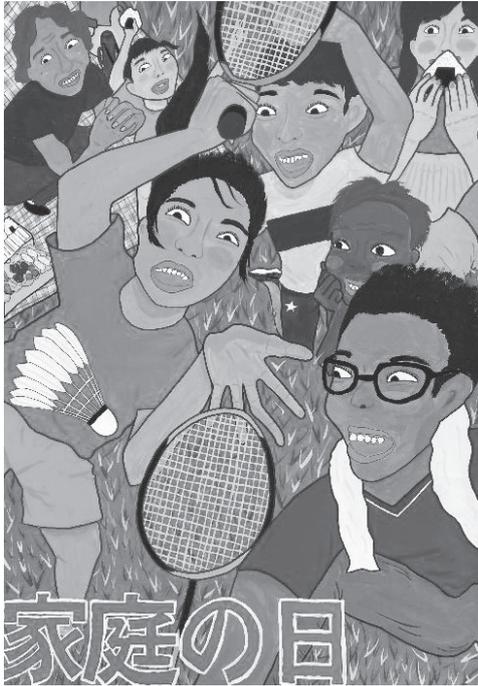
入選



5年 蟹江町立舟入小学校
山田 隼也さん

■ 生徒(中学生・高校生)の部 ■

特 選



3年 津島市立藤浪中学校
廣田 湖春さん

入 選



1年 一宮市立南部中学校
松原 朱音さん

入 選



1年 北名古屋市立師勝中学校
荻原 瑠花さん

入 選



2年 岡崎市立美川中学校
高木 詩南さん

入 選



2年 蟹江町立蟹江中学校
伊藤 優空さん

入 選



3年 一宮市立尾西第二中学校
安藤 一志さん

毎月第3日曜日は家庭の日 「親と子の対話がつくるよい家庭」



愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会の宇野事務局長が 愛知県表彰を受賞しました

第75回愛知県表彰の社会活動功労部門で、当県民会議参加団体である愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会の宇野晃事務局長が表彰を受けました。

多年、青少年育成アドバイザー等として、次代を担う青少年の育成活動を献身的に努めるとともに、指導者の養成及び青少年団体の活動支援に尽力し、青少年の健全な育成に貢献した功績がたたえられたものです。



こども大綱が閣議決定されました ～「こどもまんなか社会」の実現を目指して～

2023年12月22日(金)、こども大綱(以下、大綱)が閣議決定されました。この大綱は、同年4月に施行された「こども基本法」に基づき、幅広いこども施策を総合的に推進するため、今後5年程度の基本的な方針や重要事項を一元的に定めるものです。この大綱の策定により、これまで別々に作成・推進されてきた、「少子化社会対策基本法」、「子ども・若者育成支援推進法」及び「子どもの貧困対策の推進に関する法律」に基づく3つのこどもに関する大綱が、一つに束ねられました。

大綱においては、全てのこども・若者が**身体的・精神的・社会的に幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる「こどもまんなか社会」**を目指しています。このような社会の実現に向け、こども施策の基本的な方針として、以下の6つの柱が示されました。

【こども施策に関する基本的な方針】

- ①こども・若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る
- ②こどもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに進めていく
- ③こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援する
- ④良好な成育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする
- ⑤若い世代の生活の基盤の安定を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路(あいろ)の打破に取り組む
- ⑥施策の総合性を確保するとともに、関係省庁、地方公共団体、民間団体等との連携を重視する

また、こども施策に関する重要事項として、全てのライフステージに共通する事項と、こどもの誕生前から青年期までのライフステージ別の事項、子育て当事者への支援に関する事項が提示されました。これらの重要事項に係る具体的な取組については、以降毎年策定される「こどもまんなか実行計画」に盛り込まれ、各省庁の予算要求に反映されます。

「子ども・若者未来会議」を開催しました

愛知県では、子ども・若者が自らの居場所を得て、成長・活躍できる社会を実現するため、2022年12月に「あいち子ども・若者育成計画2027」(計画期間2023年度から2027年度まで)を策定し、本計画に基づき各種施策を推進しています。

本計画の推進施策の一つである「子ども・若者の社会形成への参画支援」を目的として、子ども・若者の意見表明の機会を設け、未来をつくる子ども・若者の活躍の後押しを図る「子ども・若者未来会議」(主催：愛知県、後援：愛知県青少年育成県民会議)を、2023年9月30日(土)に開催しました。

基調講演では、こども家庭庁こども家庭審議会委員の土肥潤也氏(NPO法人わかものまちなち代表理事)を講師にお招きし、「子ども・若者の意見が反映される社会の実現」をテーマに講演していただきました。こども家庭庁の発足とともに、子ども・若者が「対象」から「主体」へと転換していく時代となり、こども・若者の意見反映と社会参画が重要であること、さらには、意見反映の手法等についてお話しいただきました。

また、同年8月に開催した「子ども・若者ゼミナール」の実施報告では、「どうすれば子ども・若者の意見が反映される社会になるか」をテーマに高校生と大学生が話し合った内容を、各グループの代表者の皆さんに発表していただきました。実施報告後は発表者全員が登壇し、愛知大学の鈴木誠教授の進行のもと、会場の参加者とのディスカッション等を実施しました。

参加者からは、「年齢、背景の違う学生たちが、何を取り上げ、どうアプローチするのか、また、提言内容まで“考えた”経緯がわかり、とても共感することができた。」「各グループが話し合った内容をうまくまとめ、堂々と発表することができていた。」等の感想をいただき、子ども・若者の社会参画に向けて、社会全体で何ができるかを考える良い機会となりました。

【子ども・若者未来会議】

- 開催日：2023年9月30日(土)
- 会場：愛知芸術文化センター アートスペースA
- 講師：NPO法人わかものまちなち代表理事 土肥 潤也 氏
- コーディネーター：愛知大学地域政策学部教授 鈴木 誠 氏



〈基調講演〉



〈発表〉

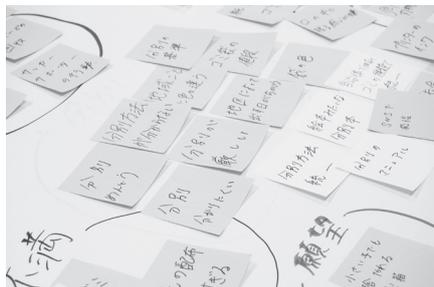


〈ディスカッション〉

【子ども・若者ゼミナール】

- 開催日：2023年8月1日(火)及び8月25日(金)
- 会場：ウインクあいち
- ファシリテーター：愛知大学地域政策学部教授 鈴木 誠 氏

〈ゼミナールの様子〉



第45回少年の主張全国大会で愛知県代表の竹内愛子さんが 「国立青少年教育振興機構理事長賞」を受賞しました

令和5年度少年の主張愛知県大会で最優秀賞を受賞した竹内愛子さん(常滑市立常滑中学校3年)が、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)で開催された「第45回少年の主張全国大会～わたしの主張2023～」に出場し、「国立青少年教育振興機構理事長賞」を受賞しました。

全国大会には、全国47都道府県の代表者のうち、ブロック審査を経て選ばれた12名の中学生が出場しました。中部・近畿ブロック代表者の一人として出場した竹内さんは、身近な大型商業施設の一角にあるガチャガチャを題材に、若者の間で流行している「〇〇ガチャ」という言葉に対する疑問から、先の見えない人生に対する不安や家族への想いに対して、前向きな姿勢や日々の時間を大切にしたいという主張を発表し、『「ガチャガチャ言っても始まらないか!」自分の気持ちと自分の責任で過ごしていく。』と、自分の力で人生を切り開いていく決意を表明しました。



〈受賞後の竹内愛子さん〉

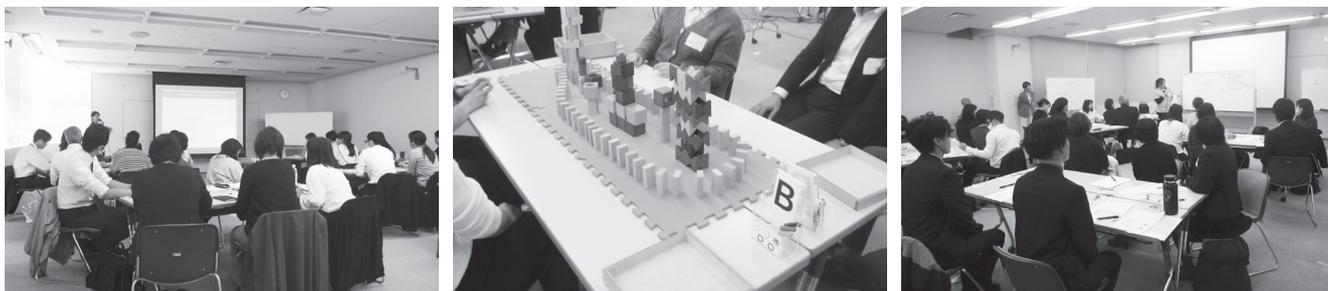
「子ども・若者支援ネットワーク形成促進事業」について

子ども・若者を取り巻く環境は様々で、いじめ、不登校、ニート、ひきこもり等、困難な状況は多岐にわたり、いくつかの困難が複合的にあらわれ、更に複雑なものとしていることもあります。

こうした困難な状況にある子ども・若者には関係機関・団体が連携し、子ども・若者一人一人に寄り添い、年齢階層で途切れることなく継続した支援を行うことが重要です。

愛知県では、「子ども・若者育成支援推進法」(2010年4月施行)に定める「子ども・若者支援地域協議会」及び「子ども・若者総合相談センター」を中核とした支援ネットワークの構築を推進し、その機能の向上を図るため、「子ども・若者支援ネットワーク形成促進事業」として、市町村職員等を対象とした研修会や講演会を開催しています。

2023年度は、子ども・若者に関する相談支援に携わる職員を対象とした「相談支援職員研修」を新たに開催しました。全3回の連続講座で、子ども・若者支援の基本的な考え方から架空事例を用いた支援メニューの検討等まで、実践的で幅広い内容を講義とグループワークで学びました。また、日々の相談業務において生じる課題を参加者同士で共有し検討することによって悩みや不安を軽減し、さらに参加者間のネットワーク形成にもつながりました。



〈相談支援職員研修の様子〉